

令和5年度 都立松原高校定時制課程における教科指導の重点

生徒の「基礎(学力)の定着」を目標とし、以下の重点課題について各科目で取り組んでいく。

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・基礎的な語句を定着させる。 ・様々な文章に触れ、考える力を身に付ける。	・時間を設定し、毎時間漢字テストを行う。 ・様々な文章を段落ごとに分けて読み取る活動を行う。	文章の読解後、自ら問いを出し、グループでそれを共有して話し合い、答えを導き出す活動を行う。
数学	数と文字を含む四則演算を処理する能力を身に付ける。	小学校課程の四則演算から確認し、中学の内容から高校の内容へと(数から文字を含む式へと)段階的に取り組んでいく。	基本的な公式を用いて問題を解き、途中式の過程を考察する。また、生徒自らが改善点を見つけ、生徒間で共有することのできる授業の実施。
英語	中学校までで習う文法・単語を定着する。	語順・代名詞・be動詞・一般動詞の疑問文や否定文など初学者が躓きやすいところを繰り返し授業で扱う。	学んだ文法事項を踏まえた例文を暗記し、自分の伝えたいことを言えるようにする。
理科	実験の結果を客観的に記録することができ、主体的に考察することができる。	各単元で実験を1回以上行い、結果を記録する。また、その結果から判断できることを考察する。	実験の結果や考察から、主体的に日常的な現象と類似点や共通点を探し、知的好奇心を育む。
社会	世界の国名、日本の都道府県名と位置を正しく認識する。	授業用プリント、スライドを活用して視覚的に位置と名前を確認し、定期テストで定着の確認をする。	世界の諸問題について、地形や気候から地域の歴史を考え、積み重ねてきた文化を尊重・受容し、多文化共生の考え方を身に付ける。
体育	基礎体力の向上と、各種目における基本的な技能を身に付ける。	・毎授業の初めに5分間走と筋力トレーニングを行う。 ・基本的な動作や技を繰り返し練習する。	・身に付けた技などをゲームや試合の中で、活用する。 ・身に付けた技などを友達に教える。
芸術 (音楽)	基礎的な譜やリズムを理解する能力を身に付ける。	基本的な楽譜や中級用の小品等を使用して、基礎的な楽譜の理解を進める。	生徒自身が上達のレベルを考え、生徒自らが選択した曲を演奏会という形で、自分を表現する。
芸術 (美術)	「描く」の基礎の充実と「表現する」の指導の充実。	基本的なグラデーションや道具の使い方を各単元の中で学習し、使えるようにする。	作品の掲示などを通じ、自分の作品と他者の作品に対し、意見を述べることで、美術に対する興味と鑑賞力を育む。
情報	「情報活用能力の育成」につなげる実習の充実。	・グループによる探究的な実習の実施。 ・一人1台端末等の情報機器の積極的な実習への活用。	他教科や行事等での一人1台端末等の情報機器の利活用のための連携。
家庭	生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。	被服製作や調理実習、高齢者体験などの実習を通して、基礎的な知識・技術を習得できるようにする。	家庭生活の各分野で、環境に配慮した取り組みに向けて、できることを考えて実行していく。